

鶴見区役所の入口天井部で 有機薄膜太陽電池の実証実験を開始します！

YOKOHAMA
GO GREEN

2030年の温室効果ガス排出50%削減、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、ペロブスカイト太陽電池や建材一体型太陽光発電設備などの次世代型太陽電池の導入が期待されています。

太陽光発電の適地に限られる横浜市のような都市部において、更なる再エネ普及拡大を目指すため、公共施設を活用した次世代型太陽電池実証実験の提案を募集し、3事業者、4提案を選定しました。(参考：公募概要 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/20240618.html>)

実証実験第4弾として「有機薄膜太陽電池の実証実験」を令和7年3月3日(月)より、鶴見区役所にて開始します。軽量で柔軟性のある薄型の太陽電池を風除室天井の曲面ガラスの形状に合わせて設置し、発電量の評価・検証を行います。

実証実験の目的

- ・公共施設を積極的に活用し、発電性能等の検証を行うことで、社会実装に向けた技術開発を後押し
- ・横浜発の新技术であるペロブスカイト太陽電池をはじめとした次世代型太陽電池の普及啓発

実証実験について

- (1) 場所 鶴見区役所 1階入り口風除室 (住所：鶴見区鶴見中央三丁目20番1号)
- (2) 事業者 東京電力エナジーパートナー株式会社
- (3) 期間 令和7年3月3日(月)から令和8年1月まで
- (4) 使用電池 有機薄膜太陽電池
- (5) 概要
 - ・風除室天井の形状にあわせて曲げたアクリル板に有機薄膜太陽電池を設置し、発電状況を検証
 - ・発電量をリアルタイムで現地に表示

【参考】実証実験の様子



【参考】横浜市ホームページ<次世代型太陽電池>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/perovskite.html>



お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局カーボンニュートラル事業推進課長 松下 功 TEL 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

